

六ヶ所ウラン濃縮工場 新型遠心機への更新工事工程の変更について

1. 震災前の新型遠心機への更新工事状況および震災による影響

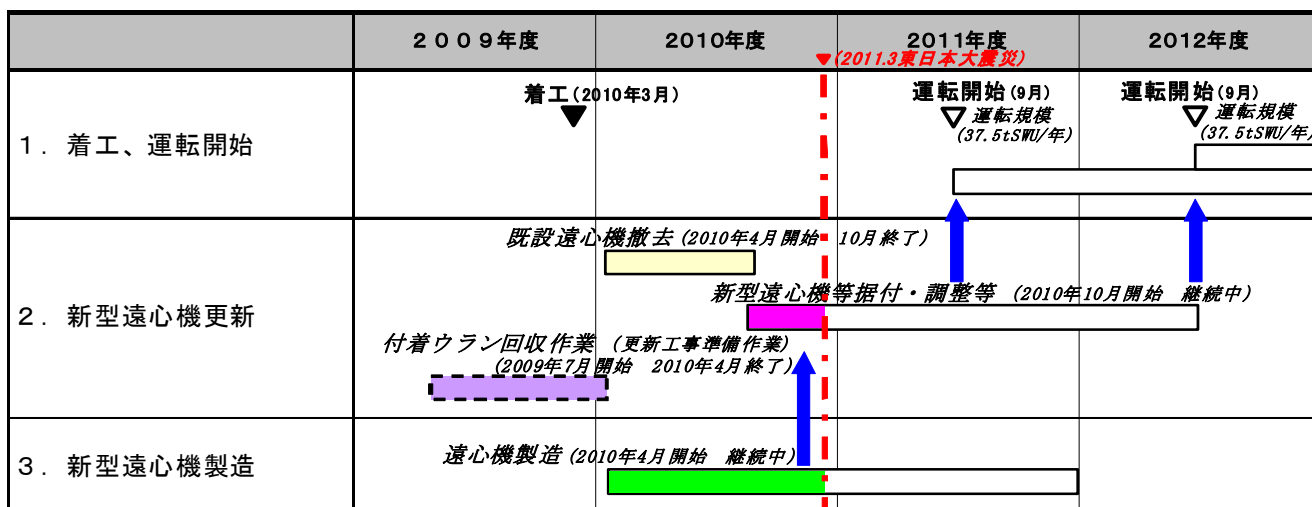
(1) 震災前の新型遠心機への更新工事状況

2010年3月より着工したウラン濃縮工場の新型遠心機への更新工事は、ほぼ工程どおり進捗し、初期導入前半分(37.5tSWU/年)の約8割程度の新型遠心機製造が終了するとともに、順次、ウラン濃縮工場への据付作業を実施していた。

(2) 震災による影響

震災の影響により、商用電力の停電や資機材等が整わなかったことから、新型遠心機製造および新型遠心機更新に係る作業を全て見合わせた。

(変更前の工程)



2. 変更後の新型遠心機への更新工事工程

製造設備および製造した新型遠心機等について、外観点検および健全性確認を行い、信頼性のある遠心機を製造できることを確認したこと、資機材等も確保されたことから、2011年5月より、新型遠心機製造および新型遠心機更新に係る作業を再開した。

これらの影響を踏まえ、更新工程を精査した結果、初期導入前半分(37.5tSWU/年)の運転開始を2011年9月から2011年12月へ、初期導入後半分(37.5tSWU/年)の運転開始を2012年9月から2012年12月へ変更することとした。

今後も引き続き、安全及び品質の確保を最優先に工事を進めていく。

(変更後の工程)

